

高収量、高品質確保の重点技術 早めの中耕・培土

～ 目指せ！品質2等以上 単収240kg ～

1 中耕・培土 ～1回目は播種20日後頃に～ 本格的な梅雨前に実施！

【効果】

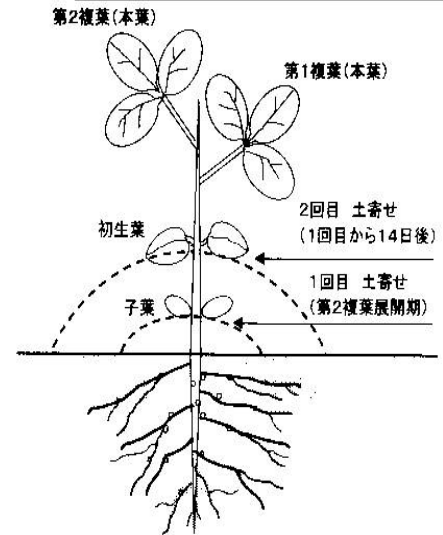
- | | |
|----------|----------|
| ①雑草防除 | ④新根の発生促進 |
| ②倒伏防止 | ⑤排水の促進 |
| ③根粒菌の活性化 | ⑥過剰生育防止等 |



- 汚損・しわ粒の発生防止
- 着莢数増加、大粒比率向上

【実施時期のめやす】

	時期	培土の高さ
1回目	第2本葉展開期 (は種の約20日後)	子葉が隠れる程度
2回目	第5本葉展開期 (1回目の約2週間後)	初生葉が隠れる程度



- 晴れ間を逃さずに、株元まで土が確実に届くように行う。
- 開花期（例年7月20日頃）までに培土作業を終わらせる。
- 例年2回培土が困難な組織は、天候条件を見ながら1回目培土作業を早めに（は種後15日頃より）開始し、2回目作業にスムーズに入れるようにする。

2 梅雨対策 ～湿害が発生したら追肥を行い生育促進～

- 湿害による黄化や生育不良などが見られたら、排水対策を行ったうえで、速効性窒素成分で10a当たり1～3kgを追肥する。（肥料散布直後に培土が望ましい）

3 雑草防除 ～除草剤は雑草が大きくなる前に散布～

- 大豆生育期に使用する除草剤は、雑草が大きくなる前（3～5葉期）に散布する。
- 茎葉処理剤は雑草の草種、葉令を確認し、効果のある薬剤を使用する。
- 土壌表層処理除草剤の培土時同時散布は、後半の雑草発生が多い連作ほ場に効率的である。

なお、散布に当たっては、ほ場外に飛散しないよう風向き等に十分注意してください。

◆ お知らせ ◆

「巻普及センターテレホンサービス」放送中！
今年も4～8月まで期間 稲作技術情報を提供します
電話：0256-72-0948 終日お聴きいただけます